

# いいの村いわて

働く者の  
ふれあいの広場

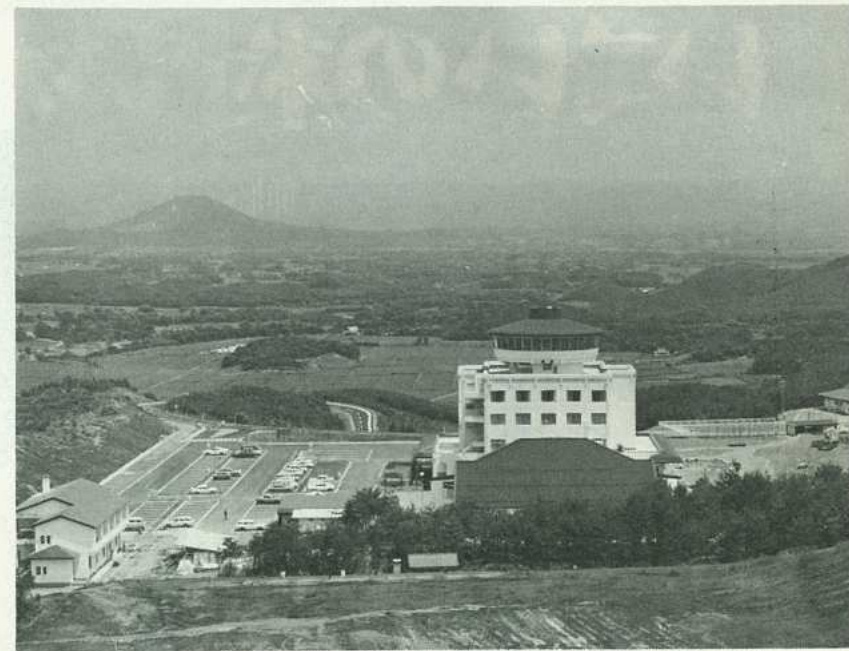
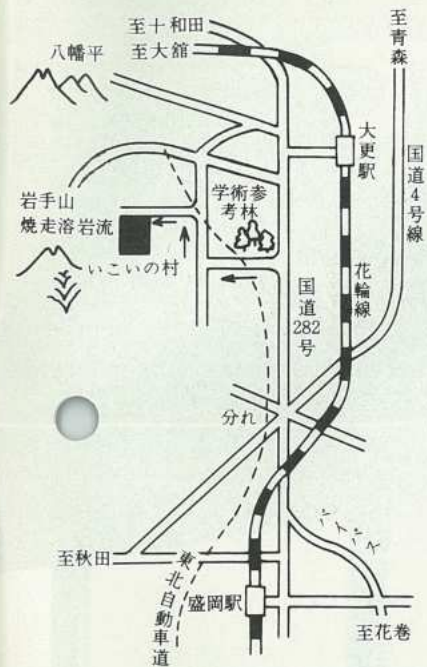


岩手に初登場の回転展望台。一周  
35分で緑の大パノラマが眼下に。



一年中泳げる屋内の温泉プール、20メートル3本に幼児用が付設され、モニターテレビで安全を確認。

住所・〒026-1777 岩手郡西根町平笠西一―四  
電話・(0)19577 61216―15



ミニゴルフ場の上から見た「いこいの村」の全景。中央＝本館、右＝レストハウス、左＝駐車場(150台収容)。



大人も子供も夢中になるゴーカート。最高二十五周(一周百円)もしたスピード狂もいたとか。奥の建物はレストハウス。

家庭的なふん困気でゆっくりくつろげる特別室。岩谷堂家具の備え付けが、いかにも岩手らしく、豪華な割に大衆料金が魅力。



大人も子供も夢中になるゴーカート。最高二十五周(一周百円)もしたスピード狂もいたとか。奥の建物はレストハウス。

全国唯一の良庵

室がある。付属棟には、冬も楽しめる屋内温泉レジャープール、サウナのついた大浴場、ゲームマシンコーナー。  
屋外には、冬場はミニスキー場(ロープ塔付き)になるゴルフ練習場、ゴーカート場、児童遊園地。また、レストハウス「森の精」は、そば類やバーベキューを食べさせる食堂と売店だ。

現在、アーチェリー場、バレーコート、テニスコート、ゴルフ場(九ホール)を整備中。やがて、東北でもまれな一大レクリエーションセンターが出現する。

南部アカマツの森の中、岩手の大自然に包まれて、思いっきりスポーツを楽しむ、温かい心のふれあいを感じ合う勤労者の広場、いこいの村いわて。あすのエネルギーを培う、働く者の楽園だ。

敷地面積四十五万平方メートル、総工費十五億四千万円(事業団九億円、県四億七千万円、西根町二億七千万円)。  
屋上に回転展望台のある四階建ての本館には、百二十人の宿泊施設、七十二畳敷きの大広場、結婚式場にも使える会議

岩手山のふもと、西根町平笠高原に誕生した岩手勤労者いこいの村(いこいの村いわて)。盛岡市から車で三十分という地理的好条件もあって、連日にぎわっている。

いこいの村は、勤労者が、家族とともに自然に親しみ休養する場として、雇用促進事業団が全国に建設を進めているもの。この施設は、長崎、和歌山、兵庫に続いて四番目、県と西根町が協力して一昨年九月着工、ことし六月十八日オープンした。



児童遊園地で親子一緒につり橋渡り。水車、滑り台、トンネルジムなどあって子供の夢を誘う。